

解答

問一	1	1	4	2	2	1	4	問二	1	2
反骨の精神。	×			2	×			3	○	
						○	4	○	5	×
							○	4	○	6
								○	5	○

問十一 鉄橋にぶらさがろうと覚悟を決める気持。

問十二 2

その時だった。鉄橋の下からふきあげる風に乗って聞き慣れた声が吾一の耳に届いた。「吾一、吾一」母が自分を呼んでいる。吾一は立ち上がり皆の方に振り返ると、まくら木を一步一步歩き始めた。作次に弱虫と笑い者にされるだろう、京造はそらみたことかと口も聞いてくれないだろう。でも、吾一はそんなこと、もうどうでもよかつた。母を悲しませない。そんな強い思いで吾一は胸を張った。

問十三 1
問十四 1
問十五 1
問十六 1
問十七 1
問十八 1
問十九 1
問二十 1
問廿一 1
問廿二 1
問廿三 1

二
問一 ア 2 イ 1
問二 電線をよけて遺跡を撮るべきだという考え方。

三
問一 ア 3
問二 2
問三 1
問四 4
問五 3
問六 5
問七 6
問八 7
問九 8
問十 9
問十一 10

四
問一 7
問二 1
問三 4
問四 2
問五 3
問六 5
問七 6
問八 7
問九 8
問十 9
問十一 10

五
前の対象を見ようとする見方。
現実の対象に触れた時に自分のイメージを省み、そこから新たなイメージを生み出していく、自分の抱くイメージとの戦いの過程。

ア
三
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

四
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

五
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10